



殺 虫 剤

スピノエース™ 顆粒水和剤

園芸用殺虫剤

(Spinoace™ WG)

農林水産省登録
第 20178 号



種類名／スピノサド水和剤
 有効成分の種類及び含有量／スピノサド……………25.0%
 その他の成分の種類及び含有量／鋳物質微粉、界面活性剤 等…75.0%
 物理的・化学的性状／淡褐色水和性細粒
 毒劇法／該当なし
 消防法／該当なし
 有効年限／5年
 包装／100g×20本 ダンボール箱

TM ® : コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

特 長

- スピノサドは、土壌放線菌が産生する天然物由来の殺虫剤で、食毒または接触毒により害虫の神経伝達系を攪乱し、効果を発揮します。
- 独自の作用機作が既存の抵抗性害虫にも効果を示し、優れた速効性・耐雨性により、通常の条件下で7～10日以上以上の安定した残効性を発揮します。
- コナガ、オオタバコガなどのチョウ目害虫、ハモグリバ工類、広範なアザミウマ類に優れた効果を示し、70作物以上に使える園芸用殺虫剤です。
- ミツバチは2日後（5000倍）から7日後（2500倍）、マルハナバチは3日後（5000倍）から8日後（2500倍）に導入できます。ハチ類や巣箱には、直接薬剤がかからないよう注意してください。
- 蚕には長期間毒性がありますので、付近に桑園がある所では使用しないでください。



有機農産物・特別栽培農産物とスピノエース™

有効成分のスピノサドは、有機JAS規格の基準に適合する資材（別表2の農薬）に記載されていますので、有機農産物に使用する事ができます。また、特別栽培農産物の使用回数にカウントされない農薬としても認められています。

スピノエース顆粒水和剤

適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	10アール当り 使用用量	使用時期	本剤およびスピノサドを 含む農薬の総使用回数	使用 方法	
かぶ	ハモグリバエ類	5000	100～300 ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	
さやいんげん				収穫7日前まで			
だいこん	アオムシ	2500～5000		収穫14日前まで	2回以内		
はつかだいこん	コナガ キスジノミハムシ	5000					
キャベツ	アオムシ コナガ タマナギンウフバ ヨトウムシ	2500～5000		収穫3日前まで	本剤：3回以内 スピノサド：4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)		
	アザミウマ類 ハイマダラノメイガ	5000		収穫7日前まで			
メキャベツ	ハスモンヨトウ			5000	収穫14日前まで		3回以内
非結球メキャベツ	ヨトウムシ						
ブロッコリー	アオムシ コナガ	2500～5000		収穫3日前まで	本剤：3回以内 スピノサド：4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)		3回以内
カリフラワー	コナガ						
はくさい	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ カブラハバチ	5000	2回以内	本剤：3回以内 スピノサド：4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)			
	非結球はくさい	アオムシ コナガ			1回		
みずな	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ハイマダラノメイガ	2500～5000	収穫14日前まで	2回以内			
非結球あぶらな科 葉菜類 (みずな、非結球はく さいを除く)	コナガ	5000	収穫3日前まで	本剤：3回以内 スピノサド：4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)			
グレンソ	ヨトウムシ						
レタス	オオタバコガ	2500～5000	セル成型育苗 トレイ1箱ま たはペーパー ポット1冊(30 ×60cm・使 用土壌約3ℓ) 当り500ml	定植前まで	本剤：1回 スピノサド：4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内)	灌注	
	ハモグリバエ類	500～1000					
非結球レタス	ヨトウムシ	5000	100～300 ℓ	収穫7日前まで	本剤：2回以内 スピノサド：3回以内 (定植前は1回以内、 本圃では2回以内)	散布	
	オオタバコガ	2500～5000					

青文字の登録には複数の作物が含まれています。作物分類および作物名に含まれる別名の例等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください

スピノエース顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤およびスピノサドを 含む農薬の総使用回数	使用 方法
非結球レタス	ハモグリバエ類	500~1000	セル成型育苗 トレイ1箱ま たはペーパー ポット1冊(30 ×60cm・使 用土壌約3ℓ) 当り500ml	定植前まで	本剤：1回 スピノサド：3回以内 (定植前は1回以内、 本圃では2回以内)	灌注
ずいぜんじな	アザミウマ類	5000	100~300 ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布
つるな		2500		収穫3日前まで	3回以内	
モロヘイヤ		5000		収穫前日まで		
エンサイ						
ほうれんそう	アシグロハモグリバエ シロオビノメイガ	4000		収穫前日まで	2回以内	
ふだんそう	ハスモンヨトウ			収穫3日前まで		
せり	アザミウマ類	5000		収穫前日まで		
みつば	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで 但し伏せ込み栽培 は伏せ込み前まで		
パセリ	ヨトウムシ	2500		収穫14日前まで	3回以内	
セルリー	ハモグリバエ類	5000		収穫3日前まで		
にんじん	アザミウマ類	10000	収穫前日まで	3回以内		
にら		2500~5000	収穫3日前まで			
にら(花茎)	シロイチモジヨトウ			5000	2回以内	
ねぎ わけぎ あさつき	アザミウマ類	2500	収穫前日まで	2回以内		
らっきょう		5000				
アスパラガス						
いちご						
未成熟さざげ	ハモグリバエ類	20000	3回以内			
未成熟ふじまめ						
さやえんどう	アザミウマ類	5000	2回以内			
実えんどう						
ししとう 甘長とうがらし	オオタバコガ ハモグリバエ類 アザミウマ類	5000	2回以内			
トマト ミニトマト	オオタバコガ	2500~5000				
ピーマン	アザミウマ類	5000				
	オオタバコガ					
なす	アザミウマ類	2500~5000				

青文字の登録には複数の作物が含まれています。作物分類および作物名に含まれる別名の例等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください

スピノエース顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤およびスピノサドを 含む農薬の総使用回数	使用方法		
きゅうり メロン	アザミウマ類 ウリノメイガ ハモグリバエ類	5000	100～300 ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布		
すいか とうがん	アザミウマ類							
食用へちま	ハモグリバエ類							
よもぎ	アザミウマ類	10000		収穫3日前まで	1回			
きく(葉)				収穫7日前まで	3回以内			
きゅうり(葉)				収穫14日前まで				
きゅうり(花)								
グアバ(葉)	バンジロウツノエグ リヒメハマキ	2500～5000		10000	収穫3日前まで		3回以内	
さんしょう(葉)	アゲハ							
しそ科葉菜類 しそ(花穂)	アザミウマ類	5000		収穫前日まで	みょうが(花穂)の 収穫前日まで 但し、花穂を収穫 しない場合にあって は開花期終了ま で		2回以内	(下記 参照※)
にんにく								
みょうが(花穂)								
みょうが(茎葉)	アザミウマ類	5000	5000～10000	収穫前日まで	3回以内			
ズッキーニ ズッキーニ(花)	ミカンキイロアザミウマ	10000	200～700 ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布		
食用ぎく	アザミウマ類						収穫3日前まで	3回以内
食用花 (かんぞう(花)、 食用ぎく、食用ミニ バラを除く)				収穫前日まで	1回			
しよくようほおずき 食用ミニバラ								
いちじく	チャノキイロアザミウマ	5000	200～700 ℓ	収穫3日前まで	2回以内			
マンゴー	アザミウマ類							
ラズベリー	アザミウマ類	5000	100～300 ℓ	発生初期	2回以内			
きく	オオタバコガ	2500～5000						
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	5000						
花き類・観葉植物 (きくを除く)	アザミウマ類					200～700 ℓ		
樹木類	ケムシ類							

※ 散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する
青文字の登録には複数の作物が含まれています。作物分類および作物名に含まれる別名の例等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください

上手な使い方

- 薬剤を調製する時は、薬剤を投入して水と馴染ませてから、かき混ぜてください。一度に薬剤を投入してすぐにかき混ぜると、薬剤が溶けにくくなる事があります。
- 本剤は植物体上での移行性はありません。害虫発生初期に葉裏までむらなく付着するよう十分量を散布してください。
- 抵抗性回避のため、コナガ、アザミウマ類への連続散布はさけ、ラベルの使用回数内であっても、必要があれば作用機作が違う剤とのローテーションを病害虫防除指導関係機関とご相談ください。



使用上の注意



- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤は、植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の事に注意してください。
 - ・ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園などでは、使用をさけてください。
 - ・関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など）に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチへの危害防止に努めてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具および容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。



安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。

スピノエース顆粒水和剤

○街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物…水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

保管…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。